

令和5年9月28日（木）

広南小学校 研究だより ③

9月20（水）16：00から3年生授業研究の模擬授業を行いました。

令和5年10月2日（月） 第3学年

主題名 みんなの使う物

内容項目 C-11「規則の尊重」

教材名 「黄色いかさ」 **出典** 東京書籍



【協議より】

<導入>

- ・みんなで使う物にはどんなものがあるかアンケートをとり、具体物を提示しながら導入を行うと、みんなで使う物がイメージしやすい。
- ・散らかっているボールやスリッパを見せ、「どういう心をもっていけばいいのかな」「どういう心を大事にするといいのかな」とめあてにつなげていくのはどうだろうか。

<中心発問>

- ・主人公はおばあさんが出てきて初めて、人のことに気付いている。
- ・この中心発問「急いでかさを取りに走り出した大助は何に気付いたか？」では急すぎて、この発問だけではなかなかでにくい。補助発問を入れることなどが必要である。
- ・「困っているのはおばあさんだけかな？」という補助発問で自分がやったことで多くの人が困っている、困ることになることに気付くことができる。
- ・「気付いたのはおばあさんに悪かったということだけ？」という補助発問で、みんなが使う傘だったということに気付かなかったこと、他の人や次に使う人にも迷惑をかけてしまうことにつながることに気付かせることができるのではないか。
- ・おばあさんに悪いことをしたなどおばあさんへの思いやりだけではなく、公共物を使うときに大切なこと（自分以外の人の事も考えること、みんなが使うためにあること、大切に使うとみんなが助かること）に気付かせるようにする。

<ふりかえり>

- ・大助の行動から何を学ぶのかをふりかえらせる。

<その他>

- ・この単元プロジェクトを実施することの意味や意識をつなげていく事が大切。



<まとめ>

- ・この単元プロジェクトを授業の中でも意識させる。
- ・導入では、写真を提示しながら「みんなが使う物が大切につかわせていないのはなぜだろう？」と投げかけ、「どういう心をもっていけばいいのか、どういう心を大事にするといいのか」とめあてにつなげていく。
- ・中心発問では、役割演技を取り入れながら、おばあさんへの思いやりだけではなく、公共物を使うときに大切なこと目を向けさせる。